

第 229 号 発行日 平成 28 年 1 月 29 日

合格通信

今
月
の
名
言

人はときによって、いつも自分の好むようには生きられない。ときには自分の望ましくないことにも全力を尽くさなければならないことがあるものだ。

—山本周五郎—
(作家)

私立高校入試が終わり、公立前期試験が直前となりました。先日は中3生の1/10「新みやぎ模試」の結果がかえって来ました。約8割の生徒が偏差値、得点とも急激に上昇しております。数例を紹介しますと、前回比・88点Up(282⇒370点)・49点Up・44点Up・33点Up(2名)・32点Up・24点Up・23点Up・・・と向上しております。冬休み中の頑張りが見事に結実しました。皆さん本当によく頑張りました。入試までこの調子で油断せずさらなる努力を続けてください!

入試 1 か月前にやってほしいこと...

入試の過去問や模試の問題を使って弱点を発見し、自分にできる範囲の問題にできるだけ多く取り組む。



過去問を解いていると、毎年の出題パターンや、よく出される問題がわかってきます。そして自分にどの分野の知識が不足しているのか、またそれがどの程度のレベルの問題なのか、知ることです。社会や理科の基礎的な用語がわからないなら、最低教科書の太字部分だけでもまず暗記することから始めましょう。そして暗記物に関して効率よく覚えるには「忘却曲線」にそってまめに覚えることです。ここを面倒がってははいけません。**復習のタイミングは、1時間後⇒1日後⇒3日後⇒1週間後**です。この間隔で復習すれば、かなり知識が長期記憶として定着できます。

一番いけないのが、難しい問題にとらわれすぎて貴重な時間を無駄にすることです。数学の入試問題の一番最後の問題などはやる必要はありません。ここは最初から捨てて良い問題です。自分にできる範囲の問題をまず確実に得点するように心がけてください。

そして体調管理も大切です。風邪などひかないように、手洗いやうがいを励行する。万一風邪をひいても勉強は継続すること。一度勉強を休むといままでのリズムを取り戻すことが大変になってきます。朝6時に起きる朝方に切り替え、試験の始まる9時には脳が完全に働いている状態にしましょう。入試当日を最高の状態で迎えるよう心掛けてください。